

2015年

第17回

# 総会議案書

開催日時：2015年5月24日（日）10：00～12：00

交流会 12：00～14：00

開催場所：元八王子市民センター 会議室1・2

特定非営利活動法人

  
市民ユニットりぼん

## たすけあいワーカーズりぼん設立趣意書

日大人口研究所によれば、14年後、65才以上の人口は、世界で初めて20%を超え、2025年には、65才以上の寝たきりは228万人、痴呆症は、321万人と現在の3倍になるそうです。この為、40才代の未就業女性の45%が介護に追われるだろうという分析もありました。2025年に40才代ということは、現在の小学生です。高齢化問題は、まさに私たち自身に、そして子供達にかかってくるのだと言えます。それに核家族化・小家族化が進む中、現代における孤独は、高齢者に限られる現象ではありません。泣きわめく赤ん坊を抱えて、途方にくれたり、病気や悩みによって、辛い思いをし、不安で泣いたりパニックになった経験のある人は多いはずです。家事労働も出産も子育ても親を看取ることも、それらの多くは、女性の手によって支えられながら、社会的に正当な評価がされることなく、やれて当然という社会通念によって追い詰められていくのです。

今、私達は、ワーカーズコレクティブという新しい働き方を選び取りました。全員で出資し、働きながら運営し、雇われるのではなく、自主性、自発性に基づいた分担により、働き方もコントロールしていきます。お金を稼ぐ為だけの労働ではなく、働くことを自己表現のひとつとしてとらえ、生命を支える活動に自信と誇りをもって、取り組んでいきたいと思えます。

アビリティクラブたすけあいと共に、今までの行政による福祉施策や民間の福祉サービス産業にはなかった市民主導による地域に開かれたたすけあいのしくみを作っていきます。そして老いても障害を持っても当たり前暮らし続けることのできる街づくりに繋げていきたいと思えます。

1993年4月

## NPO 市民ユニットりぼんの目的

市民によるたすけあいの理念に基づき、高齢者・障害者・子育て支援等の活動を行い、自らの生活を主体的に決定する市民自治によるまちづくりと地域福祉の増進に寄与することを目的とする。

## 市民によるたすけあいの理念とは

- ① お互いの尊厳を尊重し、たすけたり、たすけられたりという相互扶助の精神を大切にします
- ② 「どんな状況においても自分のことは自分で決める」という自己決定を尊重します。
- ③ 自分の常識にとらわれず、多様な方法で問題解決を図ります。

## 議事次第

1. 開会
2. 挨拶
3. 資格審査
4. 議長・議事録署名人 選出 及び 書記任命
5. 議事審議
  - 第1号議案 2014年度活動・事業報告及び収支決算の件
    - I. 2014年度活動・事業報告
    - II. 2014年度決算報告
    - III. 2014年度監査報告
  - 第2号議案 2015年度方針案及び事業計画案  
及び収支予算案の件
    - I. 2015年度方針案
    - II. 2015年度活動・事業計画案
    - III. 2015年度収支予算案
  - 第3号議案 理事改選の件
  - 第4号議案 職員代表選出の件
  - 第5号議案 代表理事報酬の件
6. 議長・書記 解任
7. 閉会

# 目 次

## 第1号議案

### 2014年度活動・事業報告及び収支決算の件

- 【Ⅰ】2014年度活動報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 【Ⅰ】2014年度事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 【Ⅱ】2014年度決算報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 別紙
- 【Ⅲ】2014年度監査報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 別紙

## 第2号議案

### 2015年度方針案及び事業計画(案)及び収支予算(案)の件

- 【Ⅰ】2015年度方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- 【Ⅱ】2015年度活動計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- 【Ⅱ】2015年度事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- 【Ⅲ】2015年度予算・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

第3号議案 理事改選の件・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24

第4号議案 職員代表選出の件・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24

第5号議案 代表理事報酬の件・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24

【資料】 組織図

2015年度 人事組織図

2015年年間行事

定款

# 第1号議案 2014年度活動・事業報告、及び収支決算の件

## I. 2014年度活動報告

◆ 定款に沿った活動を行いました。

### 会員活動

2014年度活動方針の達成度

【地域福祉増進のために、市民によるたすけあいのステージを増やしていきます。会員活動の場及び地域の人たちとの活動の場を増やしていきます】

今年も各々ができる範囲で会員活動に取り組み、みんなの居場所“カフェりぼん”の開所により地域への呼びかけができ、ボランティアや利用者に広がりがみられました。

#### ① 地域活動

ACTいきいきサークル支援

「それいゆ（リコーダー）」 「サークルKK」 「絵画クラブアトリエ友」

「ほっとスペースでのひら」の4サークルが活動を行いました

- |                           |  |
|---------------------------|--|
| ・それいゆ<br>(メンバー5名)         | …毎月1回、ひだまりの家にてリコーダーの練習。ひだまりの家での音楽会の演奏、地域のディサービスの演奏会に参加しました   |
| ・サークルKK<br>(メンバー10名)      | …2015年3月29日、11:00~14:00<br>市民ユニットりぼんの運営するカフェりぼんにて、同法人と共催し、家族介護者の会を開催しました。ご自宅で、家族力をあわせて重度の介護をされている方、ご主人のもの忘れを心配して、いろいろな働きかけを工夫されている方など、17名の参加があり、しばしの間、芋煮汁とおむすびを食べながら交流をもち、明日への活力を確認できたひとときとなりました           |
| ・絵画クラブアトリエ友<br>(メンバー5名)   | …今年度は、年10回の活動をしました。(4, 5, 7, 9, 10, 11, 12, 1, 2, 3月) 作品展の為の搬入(9/28)と搬出(10/25)の活動もしました。作品展に向けての絵画制作を行い、自分なりに自由に描くことにより技術の向上と美的センスを養えました。作品展という目標が出来たことにより、活動に対する意欲が増して向上心も養われました。メンバー同士の交流も深められて楽しく活動できました |
| ・ほっとスペースでのひら<br>(メンバー20名) | …凹凸の子を持つ親同士が勉強や情報交換が出来る場所、悩んでいるお母さんが孤立しないよう、ご縁があった方とつながる、つなげるようなサークルでありたいと願い、子育て講座を9回(最多25名参加)開催。相談会は随時行いました   |

<p>広報 「おはなしりぼん」</p> <p>「ホームページ更新」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回の発行でした。「毎回楽しみに待っています」という声が少しずつ増えているように感じます</li> <li>・今年度は古くなったソフトの入れ替えを行いました</li> </ul> <p>また、カヱりぼんの専用ページを追加し、閲覧者の方々に法人本来の活動を広く知っていただけるように工夫しました</p>
<p>ACT 公開講座</p>	<p>開催方法が変わりました。「ACTのつどい」という形で居場所で5名の参加で会員の交流が図れました</p>
<p>障害者就労支援</p>	<p>申し込み等の機会がありませんでした</p>
<p>出前介護教室</p>	<p>出向くことはありませんでしたが、相談がありました</p>
<p>交流会「結びの会・りぼん」</p>	<p>10月5日(日)元八王子市民センターにて、みんなの居場所“カヱりぼん”の開所式と合わせて行いました。町会、包括センター、市民活動協議会、地域協議会、ご近所、建築関係の方々をはじめ、45名の参加がありました。記念公演の落語も好評でした。また、あいにくのお天気でしたが、“カヱりぼん”に場所をかえて、お茶を楽しみながら、居場所のお披露目もできました。</p>
<p>被災地等への寄付金活動 (いちょう祭りでのバザー)</p>	<p>11月15日(土)、長房市民センター前河川敷・わくわく広場で、今年度も東日本大震災復興支援活動としてバザーを行いました。手作りこんにゃくの味噌おでんは、頂いた赤みそで作った甘みそで好評でした。2時頃には白玉汁粉、味噌おでんともに完売し、バザー一品も上々の売上を出しました。収益金の12,936円を市民活動協議会を通じて寄付することができました。</p>
<p>在宅心身障害者 緊急一時保護登録支援</p>	<p>新規の登録者はありませんでしたが、制度の利用はありました</p>
<p>まちづくり市民運動・ 政策提言</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で暮らす生活者として、まちづくりや環境・食の安全等定例会などで話し、生活クラブ運動グループ八王子地域協議会との連携が取れました。また、2015年度介護保険制度の改定に向けて市役所介護保険課に聞き取り調査に同行しました。</li> <li>・はちせい介護・医療推進会議運営進委員として活動できました。</li> </ul>
<p>居場所づくり (4月～10月)</p>	<p>4月プロジェクトチーム発足。家主さんとの契約、建築士さんとの打ち合わせ繰り返し改修工事を行いました。10月開所をめざし、多くのメンバー、ボランティアさんの力を借り、草むしり、障子貼り、床磨き等を行い、10月5日開所式をむかえることが出来ました。</p>
<p>家族介護者の会</p>	<p>3月29日にみんなの居場所“カヱりぼん”にて開催しました。今年は芋煮を囲みながら、介護者のご家族、地域の方々に介護の苦労、介護方法など盛りだくさんのお話でした。さらに、出前介護教室まで話が広がりました。</p>

## ② 法人内活動

<p>ひだまりの家支援： 庭作りボランティア</p> <p>登録ボランティア</p>	<p>・会員4～5名で、月1回、ひだまりの家の庭の手入れを行いました。草むしりから始まり、枝の剪定、土作り、種まき、等・・たっぷり1時間かけて手入れしました。庭を見て、利用者さんが四季を感じ、楽しんでくださいました。</p> <p>・紙芝居や、おやつ作りの材料のヨモギ摘み、壁面制作下絵描き、制作準備、誕生カード作り、傾聴などメンバー7名で関わることが出来ました</p>
<p>ホームヘルプ部門支援</p>	<p>ヘルパースキルアップ支援(学習会企画)は本年度定例会後の研修が法人全体部門共通研修の時間となったため、学習会の開催はできませんでした。</p>
<p>救急救命講習会</p>	<p>ひだまりの家で1月30日(土)、11名が参加し、応急救護研修を行いました。救急隊の指導により心肺蘇生やAEDの使い方を再確認しました。また、ケア時の事例別対処法など、多くの質問が出され、救急隊の方と共に活発な意見の交換ができました。</p>
<p>会員交流会</p>	<p>5月25日(日)2014年度の総会終了後に加多厨のお弁当を食べ、“今年度の定例会について”ワークショップを行いました。事前にとったアンケートを参考に、意見やアイデアが出されたあと、最後じゃんけん大会をして盛り上がりました。</p>
<p>みんなの参加できる定例会</p>	<p>開催日時は昨年同様、月末の夜間としました。定例会、その後の研修の担当理事を決め、その理事を中心に開催しました。DVDを見ながらの研修、腰痛予防体操などあらたなかたちの研修も好評でしたが、出席者の広がりはおおきくは見られませんでした。</p>

## みんなの居場所かゝりぼん

(2014年10月～2015年3月)

開所から3月末まで、のべ300人の利用者、見学者がありました。

広く地域の方々の利用していただける様、包括センター、市民センター、有料老人ホーム等にチラシ配布、現状報告などを行いました。

月～金まで居場所を開放し、水・金はランチ提供

ひと月に1回のワンコインコンサート、また大人の布あそびを企画し、たくさんの方々に利用していただきました。



## 総務・法人事務局

➤ 法人の円滑な運営のため下記の件について取り組みました。

### [労務管理・職員管理]

#### 1、セキュリティ管理・個人情報保護

- ・情報セキュリティ委員会を随時開催しました。
- ・「個人情報保護」について、定例会で資料の配布を行いました。

#### 2、安全衛生管理

- ・毎月、衛生委員会を開催しました。
- ・従業員の勤務時間の管理を社労士の指導のもと就業規則と所定労働時間を遵守しました。
- ・従業員の健康を維持するため、年 1 回の定期健康診断受診を促進し、8割の職員が受診しました。健診結果を参考に健康状況を各部門管理者とともに把握しました。
- ・従業員健康状況報告

労災申請	勤務制限必要者	休業必要者	出勤停止者	復職者
0	0	0	0	0

### [法人会員管理]

会員加入 1名 賛助会員 4名

退会 4名

2014年度 会員数 43名(3月31日現在)

3、ネットワーク活動を推進し、3名の加入がありました。

### ➤ 会議報告

#### 定例会

・月 1 回月末の夜間(土、日曜日にあたる場合は金曜日に繰り上げ)長房ふれあい館、元八王子市民センターにて開催しました。

#### 理事会

・理事、外理事出席のもと 4 回開催  
(8/23、12/6、3/14、4/18)

#### 理事運営委員会

・月 1 回 (臨時 3 回) 11 回開催 \*理事会開催月原則なし  
(5/22、6/25、7/23、9/4、9/24、10/22、11/19、1/21、2/18、4/16、4/29)

#### 管理者会議

・月 1 回 (臨時 1 回) 13 回開催  
(5/15、6/19、7/17、8/21、9/18、10/16、11/13、12/16、1/15、2/3  
3/3、4/13、4/27)

### ➤ 研修報告

#### ① 総務研修

- ・年末調整研修
- ・経営基盤安定に向けて

➤ ACT と『少額短期保険情報提供等委託契約』を締結し、情報提供活動を行ないました。

## 2014年度事業報告

### 介護サービスりぼん・ACTたすけあいワーカーズりぼん

#### 1、事業報告

##### ① 2014年度方針の達成度

- ・本人の望む在宅生活の理解と支援を行います。

常勤者4名、曜日固定ヘルパーが働き方として定着した人員体制のもと、利用者状況の変化や新規依頼への対応が迅速に行えた。連絡方法をメール、FAX、電話と適時使い分ける事で確実な伝達につなげることができた。

- ・本人が安心して介助が受けられるよう、介護技術の獲得を目指します。

介護福祉士受験の推進が今年度も行えた。

介護実技の研修は組まなかった。外部講師を招いてのコミュニケーション技術・精神疾患の症状理解などの研修から新たな知識を吸収し、業務に向かう心構えを再確認できた。

- ・責任ある労働の提供（曜日固定ヘルパーの定着と個人個人のスキルアップ）

常勤4名、曜日固定ヘルパー1名、登録ヘルパー14名で今年度目標とした時間数を超えてサービス提供できた。それぞれの立場で業務にあたることはできたが、“スキルアップ”を具体的に計る手段は考えていなかった。

##### ② 事業実績

事業名	ケア目標時間数（年）	2014年度実績	従業者の人数
介護保険訪問介護	3600時間	3589時間	常勤 4名
介護保険予防訪問介護	720時間	837時間	
障害福祉サービス	2520時間	2487時間	登録ヘルパー 14名
移動支援	120時間	246時間	
ACT提携	1044時間	753時間	
なんでも隊		296時間	
合計	8004時間	8208時間	

##### ③ 評価と課題

目標	評価	課題	対策
責任あるサービスを行います。	<p>事故・ひやりはっと報告を毎月配布した。</p> <p>連絡ノートを活用し、情報伝達を速やかに行えた</p> <p>業務分担を進められたが、部分的な作業にとどまった。</p>	<p>同様の事故発生を防ぐことができなかった。</p> <p>連続して最後まで行うには業務全体の理解が必要。</p>	<p>業務ニュースで事例を毎月配信し、注意喚起していく。</p> <p>業務全体の流れをミーティングで確認していく。</p>

	<p>面談は行えなかったが、職員個々の状況変化に対応できた。</p> <p>人員が不足しているチームを知らせることができた。</p> <p>常勤、曜日固定で開催しているホームヘルプミーティングが2015年3月から行えていない。</p>	<p>ケアを増やせるというメンバーが多くはなかった。</p> <p>時間を合わせるのが困難だった。</p>	<p>状況を全体で把握していくためにも継続する。</p> <p>ミーティング開催日を決めておいて予定を組んでいく。</p>
職員の介護技術、及び問題意識の向上を目指します。	年間計画に基づく研修を推進できたが、全員の参加には至らなかった。	全員参加の学習会	各々年1回は外部研修などに参加し、それを持ち帰って発表してもらおう。
利用者のニーズを的確に介護計画に反映し、目標達成を目指します。	介護計画をチームで作成することはできなかったが、状況変化への対応は適時行えた。また、時間や場所を工夫して開催できたが、多くはなかった。	チーム会議の開催	
課題については「サービス担当者会議」等で共有し、解決に努めます。	サービス担当者会議への出席、ケアマネへの報告を適時行うことができた。		
当事業所において提供困難なサービスについては他団体を紹介する。そのためにも地域のネットワークを構築する。	紹介することができた。		
個人情報保護に取り組みます。	法人の学習会で取り扱い、取り組むことができた。		

研修報告について

① 必須研修

1、コミュニケーション・・・・・・・・ 11名 (出席率 61%)

② 事前研修について

・適時行うことができた。

③ 学習会について

法人共通で毎月学習会を行えた。外部講師を招き、「感染症」「精神疾患の症状と関わりについて」「コミュニケーション」の研修を受け、各自スキルアップにつなげられた。

=内容=

法人共通 職員倫理規定に基づく行動指針、個人情報保護への取り組みの意義について・法令順守  
 尊厳を支えるケアとは何か、認知症「気づきを育てるかかわり方」、感染症、精神疾患  
 の  
 症状とかかわりについて、コミュニケーション技術、救命救急、腰痛予防体操、

事故等報告

区分	件数	内容と対応	対策
苦情	2件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物間違い。</li> <li>・制度に則った提案をされたが心情として納得いかない。サ責を交代してほしい。</li> </ul>	様々な学習会を通じて各々が多様な方法で問題解決を図ることが出来るよう努力していくとともに、苦情を貴重な意見として受け止め、改善につなげられるよう会議で共有する。
事故	破損 6件	水指、ハンガーラック、ティッシュケース、フォークの柄、枕カバーのファスナー、シャワーチェア座面の座面	周囲や状況の確認を落ちついて行う。
	ケア忘れ 2件	謝罪。開始時間、曜日の変更等利用者と相談し対応できるケアは提供した。	ケアの事前チェック、予定変更に関してメール、FAX等で連絡・確認する。状況変化は処理の流れが終了するまでを連絡ノートに記載する。
	ケアミス(生活) 8件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・干していた布団を落とした。</li> <li>・キャンセルを聞いていたが訪問した</li> <li>・買い物ケアで購入品を間違えた</li> <li>・汁を温めた時、かつお節粉が混ざっていた為突沸した。</li> <li>・食事制限のある利用者に食事後「何かない？」と聞かれ食べ物を出した。</li> <li>・ズボンと一緒にパットを洗濯した</li> <li>・洗濯機のごみ受けがきちんとセットされていないで水が漏れた。など</li> </ul>	最終確認の徹底。 ご本人の身体状況の把握を怠らない。

ケミス(身体) 5件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移乗の際紙パンツの後ろを持ってやぶけてしまった。</li> <li>・から車椅子への移乗で床に降ろしてしまった。</li> <li>・バスボードが浴槽に落ちた</li> <li>・車椅子介助時、利用者が後ろに傾き背中を支えきれず利用者が後頭部を打った。</li> <li>・爪切りで指の皮を切った</li> </ul>	身体介護技術の習得。ご本人の身体状況の把握を怠らない。
遅刻・時間間違い 2件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開始時間を間違えていた。</li> <li>・アラームをかけ忘れた。</li> </ul>	ケアの事前チェックを怠らない。イレギュラーなケアは事務所からの注意喚起を行う。
物品持ち帰り 5件	利用者宅の印鑑、利用者宅ポストイット、鍵、診察券、ボールペン	最終確認の徹底。
私物忘れ 15件	ノート(3件)、記録簿入れ、ペン(2件)、老眼鏡、日傘、ペンケース、上着、携帯電話、タオル、印鑑(2件)、記録簿、	謝罪し、サ責が取りに訪問、または、次回ケア時受け取った。 最終確認の徹底。
手配ミス 6件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアキャンセルの申し送りを忘れた。(3件)</li> <li>・ケア日変更を処理し忘れた。(2件)</li> <li>・ケアを組み忘れた</li> </ul>	変更を受けたら、まず連絡ノートに記入。連絡ノートの処理の流れは最後まで行う。
ひやり・はつと	0件	

## ケアプランサービスりぼん

### 1、事業報告

#### ① 2014 年度方針達成度

〔利用者の自己決定の支援、尊厳の尊重、本人、家族が望む生活の実現〕

- ・ 自己決定を念頭にサービス情報提供、ニーズを満たすための方法等本人、チームと共に考えることが出来た
- ・ 適切なサービス事業所の選択が出来ず結果的に不満足な状況もあった

#### ② 事業実績

事業名	事業内容	目標担当件数	2014 年度実績	従業員の人数
居宅介護支援	援助計画作成	㊦256 件㊦880 件	㊦305 件㊦980 件	常勤 2 非常勤 1
	認定調査	288 件	428 件	常勤 2 非常勤 1

### 2、目標に対しての評価

#### ①安定した事業運営を図ります

- ・ 年度途中で退職者あり下半期予算の下方修正を行った
- ・ 非常勤含め 3 名で業務継続し減収とならず収入の維持が出来た
- ・ 年 1 回健康診断を行い健康管理が出来た

#### ②サービスの質の向上を目指します

- ・ 利用者のニーズにあった適切な情報提供を行い自己決定のお手伝いが出来た
- ・ 事故、苦情、ひやりはっと例の報告を業務会議で行い共有化を図り再発を予防した
- ・ 自己評価や事例検討を通して客観的にプランを見直すことが出来た
- ・ 虐待ケースや介護保険サービス範疇外にあたるケースについて利用者を守るため地域包括支援センターや保険者に相談を行い助言を求めた

### 3、介護医療推進会議出席（5 回）し利用者、ケアマネの立場から意見交換を行った

### 4、研修報告

（八王子市、連絡協議会主催）

認定調査員研修

（外部研修）

介護保険制度改正における介護支援専門員の役割

（法人内）

プライバシーの保護研修、倫理、法令遵守研修、精神疾患利用者との関わり

コミュニケーション研修、感染症研修

### 5、苦情事故等報告

区分	件数	内容と対策
苦情	1 件	認、認介護家族「勝手にショートの計画をした」慎重に意向確認する
事故	4 件	①駐車時、三角板破損 ②祝日に通所利用計画し本人が送迎を待ってしまった③前任ケアマネが担当していた期間、サービス計画が無い期間があると事業所より指摘提出まで利用中止となった④介護度変更になったが自費ベット利用計画継続し自費料金発生

## ひだまりの家

### 1. 事業報告

#### ① 事業実績

事業名	利用者目標延べ人数	2014年度実績	従業員の人数
介護保険 予防通所介護事業	192件	216件	常勤 3名
介護保険 通所介護事業 (自費、含む)	2000件	2314件	非常勤13名

#### ② 2014年度方針の達成度

\*小規模を活かし、家庭的な施設運営ができました。

\*利用者の在宅生活が継続できるよう、日中の生活を支援することができました。

##### 1. 従業員の心身の健康を守ります

- ・職員の健康を維持することができました。
- ・利用者の状況変化等に伴う会議で、職員の勤務時間が早朝から夜遅くまでの長時間になる場合がありました。

##### 2. 安定した事業運営を目指します

- ・1日11名の目標件数を概ね達成することが出来ました。
- ・居宅介護支援専門員に、行事のお知らせと空き情報を伝えましたが、頻度が少なく、効果はあまり見られませんでした。

##### 3. 利用者及び家族の意向を反映し、個別ニーズの把握をします

- ・ケアマネージャーに日々の変化や、月の報告をすることができ、状況変化に対しての早めの対応をすることができました。
- ・アンケートや文化祭(交流会)を通して、利用者及び家族の満足度や要望等の確認をすることができ、一人一人のサービス向上に反映することができました。
- ・近隣の外出を企画し、心身の活性化を図ることができました。
- ・日々のプログラムの充実を図り、皆で喜びを共有できる場がたくさんできました。
- ・家族介護者支援のための延長利用受け入れ体制があることを伝えましたが、利用実態はありませんでした。

##### 4. 職員間の連携を図り、サービスの向上に努めます

- ・月1回の職員会議や日々の連絡票を通じて、事故、ひやりはっとの検討及び対策を職員間で共有することができ、再発防止に努めることができました。

##### 5. 栄養管理を行います

- ・管理栄養士によるバランスのとれた献立を提供することができました。
- ・季節の素材を取り入れ、個別対応及び病態による対応を行うことができました。
- ・誕生会や行事時の特別メニューを取り入れることができました。

6. 安全衛生管理を行います
    - ・手洗い・うがいを徹底し、感染予防に努めることができました。
    - ・食品等の衛生管理が行えました。
    - ・調理職員は年4回、他職員は年1回の検便を実施することができました。
  7. 災害対策を行います
    - ・6月に地震、11月に火事を想定した訓練を行うことができました。
  8. 地域社会との連携を行います
    - ・地域ボランティアの受け入れが、継続ができました。(月平均40名)
    - ・小、中学生の職場体験の受け入れができました。  
(五小・四中・七中・一中・打越中・柵田中・南多摩中 合計17名)
    - ・教職員実習生の受け入れができました。(創価大生 合計5名)
    - ・他団体の福祉作業所との交流が2回できました。
    - ・ACT 通所介護事業所連絡会議に出席しました。
    - ・地域の介護事業所と勉強会を行い、連携を図ることができました。
  9. ホームページの充実を図ります
    - ・担当者と検討する時間が持てず、図れませんでした。
- (10) 計画した研修を実施します
- ・制度改正に向けての研修を実施し、8割の職員が参加できました。
  - ・応急救護研修を実施し、7割の職員が参加できました。
  - ・職種別研修の報告を皆で、共有することができました。
- (11) 安全な施設管理に努めます
- ・年2回の大掃除を実施することができました。
  - ・日々の掃除を徹底することはできましたが、休憩室(活動材料等の管理場所)の片付けをする時間がなかなかとれませんでした。

### ③ 苦情事故等の報告

区分	件数	内容と対応	対策
苦情	0件		
事故	確認関係 9件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・領収書を、別の方の連絡袋に入れた</li> <li>・鮭のホイル焼きの1人分の一部が、生焼きで提供した</li> <li>・提供表に印がないのに、迎えに行く</li> <li>・別の方の靴を履かせて帰した</li> <li>・別の方の上着を着せて帰した</li> <li>・迎え時、利用者の支度に時間が多くかかり、待機中の運転手に連絡を入れ忘れる</li> <li>・裁縫後、待ち針が1本落ちていた</li> <li>・日中、数回さす目薬を、さし忘れる</li> <li>・夕方の服薬を勧めることを忘れる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・忙しい時間帯でも慌てず対応し、確認を徹底する。</li> </ul>



<p>対応関係 6件</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 要見守りの方が食事中、みそ汁をこぼす</li> <li>・ 食事配膳中、お盆に載せたご飯茶碗がすべり落ちそうになる</li> <li>・ 弱視の方の前に置いてあった、服薬用のコップに手が当たり、割れる</li> <li>・ 視力障害者が、介助なく一人でトイレから出てくる</li> <li>・ 要介助の利用者が持参したホッカイロが紛失する</li> <li>・ スタッフが目を離した時に、一人で外に出る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 状態把握、観察を行ない次にする動作を予知し、危険を回避する力を身につける</li> </ul>
<p>車両関係 2件</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 送迎時、対向車が来てバックをした際に、電柱にぶつける</li> <li>・ 送迎時、駐車場での車の切り替えしを誤り、タイヤをこする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予定していたことと違う状況でも慌てない</li> </ul>

## II. 2014年度収支報告

## III. 2014年度監査報告

## 第2号議案 2015年度方針及び事業計画及び収支予算の件(案)

### I. 2015年度方針(案)

#### ○ 経営理念

自分自身が利用したいと思えるサービス事業者を目指します。

- ・ 経営基盤を確立し安定した経営を目指します。
- ・ 利用者の意思や人格を尊重し、利用者の立場に立ったサービスを提供します。
- ・ 利用者や家族が安心して生活できるよう支援します。
- ・ 地域住民又はその自発的な活動等との連携及び協力を行うなど、地域との交流を推進し、地域福祉サービスの拠点を目指します。

#### ■ 安定した経営基盤の確立と、地域に根ざした法人を目指します。

平成24年度介護保険制度改正時、地域包括ケアシステムの基盤強化が謳われ、今年度は更に包括支援センター中心に地域で展開されて来ることが予想されます。

私たちが設立当初から理念として掲げている「市民によるたすけあい」の精神を発揮する時だと確信します。

介護保険制度だけでは「自分らしい生活」が得られない利用者のニーズに答えようと、かけはぎ隊、おでかけサービス、クリーン隊と様々なサービスを提供してきました。これらの拠点となるべく昨年度「みんなの居場所」を開所しました。

地域で支えあう「市民によるたすけあい」を充実させ、いくつになっても自分の役割があり生き生きとした生活を送るための支援、「場所づくり」をこれからも提供していきます。

居宅支援事業所も訪問、通所事業所も今年度の改正で厳しい経営状態になることが予想されますが、今まで培ってきた「働き、かつ運営する力」を推進力にして地域で信頼される事業所となりメンバーひとり、ひとりが力と知恵を出し合いながら活動を展開していきます。

## ■サービス提供体制の充実を図ります

- 「チーム会議」「職員会議」「部門ミーティング」等を十分に機能させ職員間のコミュニケーションを図ることで、働きやすくやりがいのある職場を目指します。
- 法人各事業所共通の「ケアサービスの質の向上」をめざし関連部門と連携をとりながら、スピーディな決定と実行をめざします。
- 各事業所の経営体制を安定させるため、理事会および理事運営会議、管理者会議において各事業所の経営状況を把握、分析を行い経営改革を迅速に行います。
- 苦情及び事故等の処理を円滑かつ迅速に行うために苦情事故等検討委員会を開催し、再発防止することでケアサービスの質の向上を目指します。
- 法人全体ですべての職種に共通した研修を実施します。
- 個人情報保護に取り組み、法人全体で強化します。
- 介護サービス情報の開示を実施します。
- 各種研修への積極的参加により職種ごとのスキルアップを図り職員の意識改革と資質の向上をめざします。
- 職員の健康に配慮し、より良いサービスの提供に努めます。

## ■誰もが集える場所、気軽に立ち寄れる場所づくりを目指します。

- まちのニーズをひろいます。
- 介護保険サービス、フォーマルなサービスでは解決出来ないサービスを作ります。
- 会員数を増やしていきます。
- スタッフも地域の人も誰もが楽しい場所を作ります。
- 地域の顔の見える関係を作ったすけあいの輪をひろげていきます。

## ■「認知症を知り 地域をつくる」キャンペーンに賛同し、「認知症になっても安心して暮らせる町づくり」のための活動を推進します。

- 地域包括支援センター等と連携し、認知症になっても安心して暮らせる町づくりに取り組みます。

## II. 2015年度活動・事業計画（案）

### ・2015年度活動計画（案）

#### 会員活動

地域福祉増進のために、市民によるたすけあいのステージを増やしていきます。会員活動の場及び地域の人たちとの活動の場を増やしていきます。

#### ① 地域活動

- ◇ ACTのつどいをみんなの居場所かゝりぼんで開催し、地域に参加を呼びかけ会員を増やします。
- ◇ 「ACTいきいきサークル」の活動を推進します。
- ◇ 地域の交流の場として法人事務所、ひだまりの家を居場所として提供していきます。
- ◇ 障害者就労体験の場を提供します。
- ◇ 広報活動を推進します。
  - ◎広報紙「おなはしりぼん」の発行  
より多くの方に読みやすく、より興味を持って読んで頂ける様な紙面づくりを心がけます
  - ◎ホームページで広く法人の活動を広報していきます。
- ◇ 出前介護講習  
在宅介護初心者の自宅に出向いて介護方法等の講習を行い介護者を支援していきます。
- ◇ 在宅心身障害者緊急一時保護制度が利用できるよう会員の介護人登録推進します。但し「コーディネート」は行いません。
- ◇ 交流会「結びの会・りぼん」  
りぼん、ACT会員、利用者、職員はもとより広く地域にむけての交流会を実施します。
- ◇ 介護者支援で居宅主催の「家族介護者の会」を年2回1週間づつ行います。
- ◇ 被災地等への寄付金活動  
いちよう祭り等を活用して、バザー等の売上金を寄付する活動を行います。
- ◇ 市民運動・政策提言  
地域で暮らす生活者として、まちづくりや環境・食の安全等を定例会等で話し合い、生活クラブ運動グループ地域協議会などと連携して課題に取り組んでいきます。
- ◇ 他団体と共に地域福祉の向上及びまちづくりのための政策提言活動を行います。
- ◇ 地域包括支援センター等と連携し、「認知症を知り、地域をつくる10ヶ年計画」を推進します。

#### ②法人内活動

- ◇ ひだまりの家支援を行います。
  - ◎庭作りボランティア
  - ◎登録ボランティア

- ◇ 救急救命講習を実施します。
- ◇ 会員交流会を実施します。
- ◇ みんなが参加できる定例会を目指します。あらかじめその月の内容をお知らせし、出欠の確認や意見の把握をします。

#### 総務・法人事務局

- 法人の円滑な労務管理、財務管理、法人会員管理、職員管理を目指します。
- 法人の円滑な運営の充実を目指します。
  - 1、個人情報保護に取り組めます
    - ・ 情報セキュリティ委員会を随時開催します。
    - ・ 職員向けの研修を各部門管理者と共に開催します。
  - 2、安全衛生管理に努めます
    - ・ 毎月衛生委員会を開催します。
    - ・ 従業員の勤務時間の管理を徹底します。
    - ・ 従業員の健康を維持するために定期健康診断受診を促進します。
  - 3、ネットワーク活動を推進します。
  - 4、法人主催の研修を実施します。

#### 非常時経済支援事業（アビリティ共済）

ACTと『少額短期保険情報提供等委託契約』を結び、共済および少額短期保険事業に関する情報提供をします。

## ・2015 年度事業計画案

介護サービスりぼん・ACTたすけあいワーカーズりぼん

事業内容：介護保険予防給付事業、介護保険介護給付事業、障害福祉サービス、八王子市移動支援事業、自立支援事業（ACT 提携事業、なんでも隊）

1. 月次目標時間数 介護保険・300 時間／介護保険予防訪問介護・60 時間／  
障害者福祉サービス・210 時間／移動支援・10 時間 /ACT・70 時間
2. 従業員数/サービス提供責任者 2 名,常勤ヘルパー 2 名,曜日固定ヘルパー 1 名,登録 13 名
3. 事業運営方針
  - ・ 本人の望む在宅生活の理解と支援
  - ・ 本人が安心して介助を受けられるような技術の獲得
  - ・ 責任ある労働の提供
  - (1) 責任あるサービスを行います
    - ①危機管理、危険管理、課題解決
      - ・ 事故報告、ひやりはっと報告の推進をはかり、解決方法を全員で共有する。そのため、業務ニュースの紙面の中に事故事例を入れて配信する。
      - ・ ケア予定の事前チェックを行い、携帯メール等を利用した連絡体制を徹底していく。イレギュラーなケアについては注意喚起の連絡を行う。
      - ・ 仕事カードなど情報の更新を適時速やかに行う。
      - ・ 職員間の相談、連絡が円滑に進むよう職員の事務所在籍時間を確保する。
    - ②職員の働きやすい環境整備
      - ・ 新規ケア開始時、メンバー交替時に研修を行う（事前研修の実施）
      - ・ 業務の分担をより明確化する
      - ・ 個人面談の実施
    - ③人員の確保
      - ・ ケア調整を公表し、メンバーに事業所で受けているケアの状況を把握してもらう。
      - ・ 曜日固定ヘルパーの働き方をスキルアップの一つとしてとらえ継続する。
  - (2) 職員の介護技術及び問題意識向上を目指します
    - ・ 事業所の年間研修計画を作成し、計画に基づく受講を外部研修も含め推進していく。
    - ・ 外部研修で習得した内容を学習会で発表。受けるから参加する学習会にしていく。研修受講に対しては対価をつける。
    - ・ 必須研修のテーマについては複数回取り組み、技術、知識の定着を図る
    - ・ 職員スキルアップのための情報提供、サポートを行う
  - (3) 利用者のニーズを適確に介護計画に反映し、目標達成を目指します
    - ・ 状況変化、ケア目標・介護計画の共有が出来るようなチーム会議を開催する
  - (4) 課題について「サービス担当者会議」等で共有し、解決に努めます
    - ・ 必要があれば当事業所から要請する
    - ・ 利用者の状況を書面にて毎月ケアマネに報告し、変化があった場合は適時報告する。

(5) 当事業所において、提供困難なサービスについては他団体を紹介します。

- ・公共機関や、インターネットを活用し地域のネットワークを構築する

(6) 個人情報保護に取り組みます

- ・法人の個人情報保護方針にそって取り組みます

## ケアプランサービスりぼん

1. 事業内容：介護保険居宅支援事業（介護プラン、予防プラン、認定調査、相談業務）

2. 目標担当件数 79件/月（介護プラン） 管理者 30件 常勤 35件

非常勤 15件

28件/月（予防プラン） 管理者 8件 常勤 8件

25件/月（認定調査）

3. 従業員：3名

4. 事業所運営方針

・介護保険制度改正内容の理解を深めると共に介護保険制度の理念を忘れることなく多様化する利用者のニーズに応じていきます

(1) 従業員の精神的、身体的健康を守りつつ、安定した事業運営を目指します

・所定労働時間を自己裁量で働けるようフレックス制を採用します

・各々が、所定労働時間を守ることが出来る様、効率的な仕事力を身につけ努力していきます。

(2) 収入の安定を図ります

・介護プラン月平均 1020,000 円、予防プラン月平均 60000 円 認定調査 108000 円の収入を維持し、努力工夫を図り経費の削減に取り組みます

・要介護者、主介護者の精神的、身体的状況によって収入の変動は避けられないが、経営安定の為、営業活動を行い件数維持に努めます。

(3) サービスの質向上と選ばれる事業所を目指します

・介護支援専門員の本分である「利用者を守る」ことが出来る様、客観的に振り返ることが出来る環境を事業所内に作ります

①介護支援専門員 2 名採用に努力し事例検討を通して意見交換が出来る様にしていきます

②予防プラン委託契約行い軽度者の支援に取り組みます

③適切な情報提供を行い利用者本位の自己決定が出来る様支援します

④月～土 18:00 までの営業を継続し多様な利用者の要望に応えることが出来る様にしていきます

⑤八王子市介護支援専門員連絡協議会と連携し、利用者が望む生活の確保と尊厳の尊重を図るべく保険者へ提言していきます

⑥事故、苦情、ひやりはっと例を事業所内で共有し再発を防ぎます

⑦利用者アンケート、自己評価を実施し質の向上に努めます

⑧若年層の利用者が増えていることから障害支援制度の知識習得に努め積極的に研修に参加し研鑽に努めます

⑨利用者の出来ること、出来ていることの評価を行い持てる能力を生かした自立支援マネジメントに努め希望を持った楽しい生活が出来る様支援します。

⑩地域包括支援センターや介護支援専門員連絡協議会と連携し積極的に助言を受けます。

#### (4) 地域社会活動

- ・インフォーマルな社会資源として「みんなの居場所」を活用できるよう方法を法人に提言しニーズが満たされない高齢者障がい者の支援を行います
- ・介護者の精神的、身体的支援の場として「介護者週間」を年2回設け「みんなの居場所」を活用してもらえよう法人と協働で介護者の会を行います

#### (5) 職員の処遇

- ・健康管理 健康診断の実施 所定労働時間の遵守を徹底し健康に留意する
- ・会議 月1回、適時10分間業務会議を実施し、情報の共有化を図り客観的な視点で支援が行える体制を目指します
- ・研修 現任研修 認定調査研修 予防マネジメント研修 ACT研修、  
八王子市居宅支援事業所連絡会研修 八王子市主催研修 外部研修



## ひだまりの家

1. 事業内容 : 介護保険予防給付事業・介護保険介護給付事業
2. 営業日 : 月・火・水・木・金
3. 利用定員 : 14名/日
4. 目標利用者数 : 11名/日
5. 従業員数 : 常勤3名  
非常勤12名(介護:3名 看護:4名 調理:3名 ドライバー:2名)
6. 施設運営方針:
  - \*小規模を活かし、家庭的な施設を目指します。
  - \*利用者の在宅生活が継続できるよう日中の生活を支援します。
  - (1) 従業員の心身の健康を守ります。
    - ・業務の分担を行い、過度な労働にならないように努めます。
    - ・看護師の配置基準が変更されたことから、看護師の配置を緩和し常勤の所定労働時間を週40時間にする事で対応します。
    - ・年1回の健康診断を実施します。
  - (2) 安定した事業運営を目指します。
    - ・通所介護の単位数が減り、社会的にも通所事業所の運営が厳しくなる中、ひだまりの家のような小規模事業所はますます苦しくなることが予想されます。個別対応で家庭的な雰囲気の中、楽しいおしゃべりやオリジナリティー溢れたレクリエーション、美味しい食事などの特徴を生かし営業活動に力を入れます。
  - (3) 利用者及び家族の意向を反映し、個別ニーズの把握をします。
    - ・ケアマネージャーとの連携をすすめ、状態変化等の報告を迅速にします。
    - ・利用者アンケートや文化祭(交流会)を実施し、サービスの満足度や要望などの確認を行い、利用者や家族との交流を深めます。
    - ・近隣の外出企画をたて、実施します。
    - ・日々のプログラムの充実を図り、皆で喜びを共有できる場を多く設けます。
    - ・利用者さんと共に季節のおやつ作りを実施します。
    - ・時間延長の受け入れ体制を作り、本人及び家族介護者の支援をします。
  - (4) 職員間の連携を図り、サービスの向上に努めます。
    - ・日々の記録や、毎月の職員会議の充実を図り、職員の連携に努めます。
    - ・ひやりはっとを見落とさずに報告し、スタッフ全員で共有して再発防止に努めます。
    - ・サービス提供内のスタッフ配置が少ない時間帯ができることから、事故防止対策をしっかりと立て、工夫を図り対応します。
    - ・職員会議 各職種会議等の充実を図り、運営の向上を目指します。
    - ・積極的に研修に参加し、職員間で共有しながら日々の業務に活かしていきます。

- (5) 栄養管理を行い、食を通じた刺激を提供します。
  - ・管理栄養士による 低栄養リスクを考え、バランスのとれた献立作成を行います。
  - ・季節の素材を取り入れ、個別対応及び病態による対応をします。
  - ・誕生会メニューや行事メニューを取り入れます。
- (6) 安全衛生管理を行います
  - ・手洗い・うがいを徹底し感染予防に努めます。
  - ・食品等の衛生管理に努め、定期的な検便を実施します。
- (7) 災害対策を行います
  - ・避難訓練を、年2回実施します。
  - ・毎月の職員会議で、災害時の確認をします。
- (8) 地域社会との連携を行います。
  - ・利用者のニーズに応え地域や他団体との交流を深め、ボランティアや学生の受け入れを積極的に行ないます。
  - ・空き曜日のサロン開催について検討していきます。
- (9) 安全な施設管理に努めます。
  - ・年2回の大掃除を実施し、日頃できない部分の片づけを行い、危機管理に努めます。
  - ・施設内外の日々の掃除や片付け、管理を徹底します。

## みんなの居場所カフェりぼん

目的：

- 1、地域の人たちが昔の縁側のように気軽に立ち寄れる交流の場とします。
- 2、はちバスの時間に合わせ毎月/1回催し物を開催し、多世代の交流の場とし、会員を増やしていきます。
- 3、公的サービスだけではニーズが満たされない高齢者の行き場として居場所を開放し、特技を生かしてもらいます。
- 4、職員の交流の場、特技を生かす場所として活用します。
- 5、子供たちの放課後の安全な居場所

目的に沿って活動していきます

- ① 気軽に立ち寄れる場所として広く知っていただく為、毎月ワンコインコンサート、大人の布あそびを開催します
- ② 2/w ランチを提供し、サークル活動や、1人暮らしの高齢者等に安価でバランスの良い食事を提供します。
- ③ 放課後の学童が集える場所を目指します。
- ④ 地域の老人会と協力し、講演会等開催し、新しいたすけあいのしくみを作っていきます。
- ⑤ 安定した運営をしていく為、地域のバザーに参加、また家賃・人件費の補助の助成金申請を行っていきます。

### Ⅲ. 2015年度活動予算書(案)

(単位:円)

	収益事業				本来事業	総務 ・ 共通	総合計
	居宅部門	通所部門	ホームヘルプ部門	収益事業計	居場所		
<b>I. 経常収益</b>							
事業収益	14,256,000	23,160,000	24,360,000	61,776,000	420,000		62,196,000
正会員受取会費						135,000	135,000
賛助会員受取会費						10,000	10,000
受取寄付金							0
受取助成金					300,000	40,000	340,000
<b>経常収益計</b>	<b>14,256,000</b>	<b>23,160,000</b>	<b>24,360,000</b>	<b>61,776,000</b>	<b>720,000</b>	<b>185,000</b>	<b>62,681,000</b>
<b>Ⅱ. 経常費用</b>							
<b>1. 事業費</b>						Ⅱ 管理費	
<b>(1) 人件費</b>							
給料手当	8,526,000	14,550,000	15,520,000	38,596,000	300,000	3,740,000	42,636,000
法定福利費	1,150,000	1,359,000	1,613,000	4,122,000		342,000	4,464,000
福利厚生費	8,000	56,000	18,000	82,000		14,000	96,000
通勤費	113,000	330,000	176,400	619,400		250,600	870,000
労働保険料	138,210	153,567	184,280	476,057		35,833	511,890
役員報酬				0		140,000	140,000
<b>(2) その他経費</b>							
広告宣伝費	50,000			50,000			50,000
会議費					5,000	15,000	20,000
ガソリン・駐車代	232,000		393,000	625,000			625,000
缶費(ひだまり号)		350,000		350,000			350,000
ケア交通費			500,000	500,000			500,000
通信費	258,000	120,000	120,000	498,000	42,000	440,000	980,000
消耗品費	28,000	195,000	25,000	248,000		200,000	448,000
水道光熱費		460,000		460,000	108,000	400,000	968,000
新聞図書費	5,000		18,000	23,000			23,000
諸会費	10,000	17,000	10,000	37,000	4,800	22,000	63,800
支払手数料		3,600	83,000	86,600	20,000	63,000	169,600
車両点検費		84,000		84,000			84,000
リース代	640,188	262,836	606,168	1,509,192		438,888	1,948,080
保険料		140,000		140,000			140,000
火災保険料				0	27,000		27,000
ACT包括保険料				0		250,000	250,000
支払報酬		2,000		2,000	50,000	152,000	204,000
減価償却費		346,633		346,633		8,802	355,435
地代家賃	196,000	1,845,240	348,000	2,389,240	348,000	1,330,284	4,067,524
事務所更新料				0		280,000	280,000
租税公課		50,000		50,000		85,000	135,000
雑費		7,400		7,400		5,000	12,400
印刷代		10,000		10,000		250,000	260,000
材料費		1,050,000		1,050,000	60,000		1,110,000
研修費	10,000	10,000	45,000	65,000		50,000	115,000
ACT分担金				0		390,000	390,000
保守料	7,560		7,560	15,120		113,428	128,548
会員活動費				0		80,000	80,000
広報費				0		50,000	50,000
予備費				0		100,000	100,000
<b>経常費用計</b>	<b>11,371,958</b>	<b>21,402,276</b>	<b>19,667,408</b>	<b>52,441,642</b>	<b>964,800</b>	<b>9,245,835</b>	<b>62,652,277</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>2,884,042</b>	<b>1,757,724</b>	<b>4,692,592</b>	<b>9,334,358</b>	<b>-244,800</b>	<b>-9,060,835</b>	<b>28,723</b>

### 第3号議案 理事改選の件

#### 理事候補者

浜口 龍太

大野 正子

内田 富美子

鈴木 真砂子

井上 智恵

内山 明美

柴 由美子

青山 登

木下 清子

監事 海老名 邦彦

### 第4号議案 職員代表選出の件

反町 晶子 (2015.6.1～2016.5.31)

### 第5号議案 代表理事報酬の件

代表理事報酬月額 255,000 円



